



Rotary: Making a Difference

2017～2018 年度
第 27 巻 5 号
2017 年 8 月 1 日

● クラブテーマ ●
クラブを変化させよう

■■ 本日のプログラム ■■
■ ガバナー公式訪問 沼津北RC移動例会 曜日変更 ■

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050 (久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600 (久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第 1243 例会 会長挨拶◆◆

本日は、ガバナー公式訪問ということで、恒例になっています沼津北クラブさんとの合同例会です。1年に一度の親子の体面になります。沼津北クラブさんには沢山子クラブが有る中、公私共に可愛がって頂いております。本当に有難う御座います。

今年度は、昨年の規定審議会においての大幅な変更に伴い「ロータリー：変化をもたらす」がテーマに掲げられました。また、松村友吉ガバナーは「未来のロータリーを考える」です。何れにしましても、今が未来のために変化して行かなければならないという使命を持つ時だと思えます。

当クラブは現在会員28名、このところ長期計画にも上げ30名を目指しているものの中々達成出来ずにいます。但し少ないなりに団結心があり一体感のあるクラブです。しかし、良く言われる5年後10年後はどうか？という決して安心出来ません。やはり余裕を持って増強して行かないと未来はありません。人数では、今だ親クラブの半分、いつか親を超えられる様にしたいものです。

その為に、今からクラブを変えて行かなければならない。また、40代の会員が全体の1/3と若い会員が多いので、ロータリーの本質も理解して頂かないといけません。そこがクラブの強みと弱みでもあります。正に「変化するべきものと守るべきもの」それは何かをクラブで話し合い、共有し合って変革に取り組んで行きたいと思えます。会員の皆様にご理解とご協力をお願い致します。

最後に次年度からは、分区再編により御殿場・裾野・長泉の3ロータリークラブが同一グループになりますが、末っ子の当クラブを相変わらず一番可愛がって頂きたく宜しくお願い申し上げます。

7月のプログラム

1244回 12:30	ニューウェルサンピア沼津 クラブ協議会②
08月10日(木)	前年度事業・決算報告 理事会③
08月17日(木)	裁量休会
1245回 12:30	ニューウェルサンピア沼津 IAC年次大会報告
08月24日(木)	加藤学園高校IAC 青少年奉仕
1246回 12:30	ニューウェルサンピア沼津 イニシエーションスピーチ:山田和典君
08月31日(木)	会員増強セミナー報告:名古屋輔君

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告 (会員総数 28名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1243回	27名	21名	-	77.78%
1241回	28名	23名	2名	89.29%

●ゲスト

- 2017-18年度国際ロータリー第2620地区
松村友吉 ガバナー (焼津RC)
- 2017-18年度国際ロータリー第2620地区
浅原博 筆頭地区副幹事 (焼津RC)
- 2017-18年度国際ロータリー第2620地区
金丸好孝 地区副幹事 (焼津RC)
- 2017-18年度国際ロータリー第2620地区
静岡第3分区太田昭二ガバナー補佐(沼津柿田川RC)

●欠席者(6名)

井上武雄、本村文一、下原満知子、鶴田龍聖、渡邊勝也、山田和典

●他クラブへの出席者

久松 但(7/30, 31 IAC年次大会)

●スマイル報告

- 宮島賢次、2. 山本宜司、3. 鈴木和憲：
松村友吉ガバナー、浅原博筆頭地区副幹事、金丸好孝地区副幹事、今日は、ありがとうございます。

会 長	宮島賢次	幹 事	山本宜司
広報委員長	成田みちよ	編 集 者	神尾栄一

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①沼津RC8月4日(金)夜間例会(前会長・幹事慰労会、会長・幹事激励会) MU受付 11:30-12:30

沼津リバーサイドホテルにて

②富士山吉原RC8月3日(木)期首懇親会 18:00

於:松葉楼 MUはホワイトパレスフロントにて

11:30-12:30 8月10日(木)特別休会 MU無

③沼津北RC8月8日(火)夜間例会(前年度会長・幹事慰労会) MU受付 11:30-12:30

2. 報告・連絡事項

①次回は、理事会がありますので、理事の方は出席また協議資料の提出をお願いします。

・2年前にガバナーノミニーデジグネートになり、不安を抱えながら、2年間地区やRIのことを学んできました。それは密度の濃いい準備期間をいただいたと思っております。

(2)ロータリーの組織で気づいたこと

・この二年間、ノミニーとエレクトとしていろいろな会議に出席し、ロータリーのことを学んでいるうちに、2つのことに気づきました。すでにそんなことは百も承知だよ、という方もいらっしゃるかと思いますが、私には大変新鮮な発見でしたので、述べてみたいと思います。

・1つは、ロータリーには、日本の組織がなく、我々地区とクラブは直接RIと繋がっているということです。私はJCにも所属していて、地区会長とかさせていただいたのですが、JCでは、1番中心にあって力のある組織が日本JCで、そこには会頭ほか多くの役員や事務局員が居てしかも霞ヶ関の近くに立派な会館も持っていて、全国のJC組織を統轄運営しています。地区も東海地区や四国地区というように地域の名称が付き、日本JCの統括を受けながらも独立した地域独特の運営をしています。ロータリーには日本ロータリーという組織はなく、RI日本事務局がオフィスを構えて活動していますが、あくまでRIの組織で、独立した日本の組織ではありません。地区はすべてナンバリングで呼ばれ、静岡山梨地区は2620地区と、ある意味、味も素っ気も無い呼称になっています。私たち地区はRIと直接つながり、ガバナーはRIの役員になっています。各クラブは、RIに対して、直接もの申せますし、投票資格も持っています。この組織構造の違いは大変大きく、我々ロータリアンは、よくよくこの組織のあり方を認識している必要があります。

・2つめは、ロータリーの役職が単年度制であるなかで、毎年うまく引き継ぎあるいは更なる発展や飛躍をするための仕掛けが、大変絶妙に組み込まれていることです。例えば、ガバナーの引き継ぎの仕掛けで言えば、2年前からノミニー・1年前からエレクトとして多くの会議に出席する仕掛けがあり、また直前前任者のガバナー・エレクトと常に顔を合わせ情報交換する機会が大変多く設定されています。GETSや国際協議会はもちろんのこと、研究協議会やゾーン毎の多くのセミナーで現在もっとも必要とされるロータリーの課題を学び、自分のガバナー就任にむけての事前準備が否応なくできるように仕組みられています。

ガバナー公式訪問 挨拶文



■2017-18年度国際ロータリー第2620 地区

松村 友吉 ガバナー■

1. ロータリーの経験

(1)私のロータリー歴

・私は焼津ロータリークラブに所属する、松村友吉と申します。ロータリー歴は、1998年入会で今19年目に当たります。父がチャーターメンバーでしたが、体を壊しロータリーを退会すると言うことで、父と交代で44才の時入会しました。入会式のことは今でも覚えていまして、緊張しながら入会のご挨拶をして席に戻ると、大先輩が寄ってきて「おまえの親父さんの面倒を我々は見たのだから今度はおまえが我々の面倒を見る番だ」と言われ、まずいところに入会してしまった、と大いに後悔しました。実際は優しい先輩たちで、心配することは無かったのですが、あまり熱意も無く、出席率も良くない不良会員として数年過ごしました。ただ、委員長の役が回ってきて、プログラム委員長、職業奉仕委員長、会員増強委員長等を歴任し、だんだんクラブにも慣れてきて、数年前に会長を引き受けました。ただ、地区に外向した経験もなく、ガバナー補佐にもなったことも無い私が、先輩からガバナーの話を聞いたときは、本当にいいのかな、なれるのかな、と考えました。ただ、JCの時から癖で、請われたら直ぐに、はい喜んで、とお引き受けするのがいいことだと思いついて、勢いで受けてしまいました。

・また、クラブにおいても、会長エレクトは会長の補佐役として常にそばに控え、1年間会長としての役割や振る舞い方を身近に見て学び、会長就任時にはある程度の知識と覚悟を持ち合わせるように仕組みられています。このあたりの仕掛けの絶妙さは、やはり発祥の地アメリカの戦略的思考方法がベースにあって100年かけて設計されたものであるように思います。もし我々日本の中小企業が1年発起して世界に打って出てグローバル企業を1から立ち上げようとするなら、このロータリーの組織運営に組み込まれた絶妙な仕組みを真似るといいと思いました。とにかくうまく出来た組であると思います。



2. イアン・ライズリー会長のテーマ

(1) 「変化をもたらす」の意味と背景

・本年度のRI会長イアン・ライズリー氏については、いろいろな機関誌でご覧になっているかと思いますが、再度申し上げますと、オーストラリアのメルボルンの郊外にあるサンドリングラムRCのメンバーで、公認会計士として成功している方です。奥さんともに体が大きくまた大変陽気な方です。この方のテーマが、「ロータリー：変化をもたらす」というもので、これについて改めてご説明いたします。変化をもたらす主体はロータリーです。そして、変化をもたらす対象は、2つあります。

・1つは外に向けて。112年の歴史を持つロータリーはこの間様々な活動を世界中で行ってきて、世界をよりよくするために変化をもたらしてきました。これからは同じように外に向けて我々は活動を展開していくわけですが、特にサンディエゴで言われたのが、行動の大切さです。ROTARY IN ACTION という標語をたくさんいただきました。とにかく行動して結果を出していこう、ということです。中でも、END POLIO については、ロータリーとしても大変な成功事例だとしていて、まもなく撲滅が実現し、次の大きな事業に取りかかるタイミングであるが、次の事業もEND POLIOのように、世界的な規模で、他の世界的な機関と協力しながらロータリーの良さや強みを発揮する事業を見つけていきたいと言っていました。とにかく、外に向けてよりよい変化をもたらしていきましょう、ということです。次に、内に向けての変化です。近年の規定

審議会での議論を踏まえて、ロータリークラブの運営方法に柔軟性を持たせ、運営をやりやすくしていこうという動きがあります。これについては、イアン・ライズリー会長から、世界の環境変化への対応が必要である、というお話がありました。世界の環境変化は3つありまして、1. IT化 2. グローバル化 3. 少子高齢化 です。

・1. IT化は、我々は今や否応なくこの流れに飲み込まれている訳ですが、まずはRIの用意したロータリークラブ・セントラルという情報ツールをクラブで存分に使いこなすこと、更に個人個人でマイロータリーのパスワードを登録して、ロータリー情報を自らやりとりすること、が求められています。この流れは後戻りしませんから、なんとか食らいついて変化に対応していく必要があります。

・2つめのグローバル化は経済の世界で常に言われることですが、ロータリーが200カ国に広がり、123万人の国や言語や生活習慣の違う人々が今やロータリアンとして世界で活動する時代ですから、組織の運営方法についてもこの面からも柔軟性が求められています。昨年の規定審議会でも世界の国々の特に発展途上国から、強い要請があったようです。つまり、毎週毎週決まった時間に全員が顔を揃え会合を持つことが、発展途上の国のロータリークラブでは難しいので、もっと柔軟な規定にして、運営方法に幅を持たしてほしい、という要求が通りました。因みに来年のRI会長はアフリカのウガンダの人ですが、先進国ロータリーの意向が100%まかり通る時代では無くなってきた、ということです。

・3つめは、先進国における少子高齢化です。これまで長い間ロータリー活動を牽引してきた先進国では、程度の差はありますが、少子高齢化が進んでいます。なかなか会員の数が増えない、増えないどころか減っていく傾向にあります。RIは必死で会員維持増強を訴える背景に、この少子高齢化があります。会員の減少は、直接組織の活力低下になっていきます。

・RIはここ15年間会員の増強のために試験的にいろいろな試みをしてきました。その結果、組織運営に柔軟性を持たせ、会費の減額や例会の頻度を減らす等が一定の効果を示した、ということで、RI理事会としても、クラブ運営に柔軟性をもたせることを後押しした、ということです。

・イアン・ライズリー会長のいう内に向けた変化は、これら時代の変化にうまく対応するために、組織づくりや運営方法に変化をもたらすことも必要だ、という示唆であると思っています。

(2)私の考え方

・私自身、サンディエゴでイアン・ライズリー会長のテーマを初めて耳にした時は、実はあまり大きな違和感を感じませんでした。なぜなら、私自身中小企業の経営者として1番心がけていることが、時代の変化に対応する、ことであり、そのために常に自分の会社にすこしづつ変化をもたらし、商品やサービスそして組織そのものが陳腐化しないようにしているからです。経営者の役割はそこにあって、日々のルーティーンをこなすことは、経営者の第一の務めでは無いと思っています。よくゴルフを経営者仲間ですると、プレイ中常に携帯からいろいろな指示を出している経営者がいますが、その人が後輩なら、ちょっとそのやり方は違うんじゃないの、と言ってしまいます。日々のルーティーンをこなすことも大事ですが、大きい流れを捉えて会社運営に変化をもたらすのが経営者の役割であると思います。

・そういう意味では、今年のイアン・ライズリー会長のテーマは、全く違和感はありませんでした。ただ、これまでロータリーを一生懸命やられてきた先輩のロータリアンから、こんなに規律を緩めていいの？あるいは、ロータリーの本来の精神も揺らいできているのではないかと懸念が多々示されています。これから会員の増強に力を入れ、若者・女性・あるいはサラリーマンの方々を数多く勧誘していけば、会員の質の低下とか、心配される向きもありよく理解できるのですが、本当に数を絞り、会員数が減少してもロータリーのこれまでの質のみに拘っていくのがいいのか、まだここ当分何年かは議論が続くのではないかと思います。私の考え方を聞かれれば、企業経営と同じで、環境に合わせて組織を変化させていき、それがむしろ組織強化に繋がる、というのが私の考えです。やはり、一定の会員数は必要です。私のクラブでは、51年目私が会長の時、初めて女性会員を入れ現在3名、若者も多く入って平均年齢は4才下がりましたし、サラリーマン会員も専門知識を生かし、大いに活躍してくれています。年配の会員もいま一生懸命地区運営を支えています。あまり恐れず広く人材を求め、入会のタイミングでうまく指導をしていくことが大切なのではないかと思います。

・また、申し上げたいのが、組織運営の方法に変化をもたらしても、ロータリーの精神の根幹は、変えてはならない、ということです。イアン・ライズリー会長もこのことは明確に言われていました。ロータリーの目的、5つの中核的価値、4つのテストは全く変わっていません。変えていくものと、変えてはいけないものをしっかり見極め、未来に向けてロータリーをしっかりと牽引して行ってほしいと思います。

3. 未来のロータリーを考える

・2018年はポール・ハリス生誕150年、そして米山梅吉生誕150年、さらに2020年は日本のロータリー100周年ということで、100周年記念委員会も出来、これから記念誌が発行され、将来に向けたビジョンが発表されるのだと思います。また、先ほど申し上げた運営方法の変化も打ち出された時期ですから、いま未来に向けてロータリーについていろいろな議論がなされるべき時期ではないかと考えています。これは入会したばかりの人を含めて、若いも若きも、ベテランも素人も含めて議論していいのではないかと考えています。確かに、これこそロータリーだという神髄はあるでしょうし、そこに信念を持っている方々もいらっしやるでしょうし、この機会に互いの切磋琢磨も含めて考えを交換し合うことは、大変有意義だと思います。ロータリーの学びの手法に、アイデア交換、いうのがあります。サンディエゴの国際協議会の半分の時間は、このアイデア交換に費やされました。そんな気軽な明るい気持ちで、互いのロータリアンが考えをぶつけ合うのもいいかもしれません。

・果たして100年後のロータリーはどうなっているのでしょうか？サンディエゴの国際協議会の本会議の最後に、シカゴのEクラブの会員で20代のシリコンバレー経営者が、蕩々と未来のロータリーについて、危機感を交えて語りました。この若者に未来のロータリーを長々と語らせたもの、RIの意思だと思います。われわれも1ロータリアンとして、未来のあるべきロータリーの姿について語り合ってもいいのではないかと思います。これからの若者が入会したいと思うロータリー、この会に入って一緒に活動してみたいと思うロータリーにしていかななくてはなりません。そのためには、まずは我々自身が変わっていくべきなのか、あるいは、日本のロータリアンとして、もっともっとRIに対して言うべきことを言うべきなのか、そして世界全体のロータリアンとしてどんな行動をとっていくべきなのか、話はどんどん大きくなりますが、100年単位の視野で考えることですから、萎縮することなく本音でいろいろ議論出来たら、と思います。是非、みなさんもこの機会を捉え、未来のロータリーについて考えてほしいと思います。





Rotary: Making a Difference

2017～2018 年度
第 27 巻 6 号
2017 年 8 月 10 日

● クラブテーマ ●
クラブを変化させよう

■■ 本日のプログラム ■■
■前年度事業・決算報告 クラブ協議会■

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050 (久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600 (久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第 1244 例会 会長挨拶◆◆

今月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。ロータリーの友8月号に掲載された大宮西ロータリークラブを紹介します。

2013年に50周年を迎えたクラブですが、一時は100人を超えた会員が、3年前の2010年当時42人まで減少してしまっていたそうです。

原因としては、例会のマンネリ化、奉仕活動の前年踏襲型、高齢化による停滞感が漂っていたということです。そこで、2010～11年度の会長エレクト兼増強委員長が、増強活動への行動を起こします。活動計画は、「会員1人が1人の増強」を提案して、42人から84人へ倍増、更に新会員からの紹介で126人へ3倍増するというものでした。

30～40代の若手経営者を積極的に開拓し熱心に勧誘しました。親睦例会や同好会のゴルフ大会に誘い、親睦活動をアピールするとともにロータリーの理念の説明も欠かしませんでした。異業種の集まりで経営の勉強になること、親睦と奉仕を重ね信頼関係が生まれれば、ビジネスチャンスも広がるメリットもアピールしました。元来仕事の話はタブー視されていましたが、殻を破ってロータリー草創期の原点の一つ相互扶助の精神も利点として訴えたそうです。その人物の高潔さが認められれば必然的にそうなるだろうと思います。

結果として、3年後の50周年を迎える時に85人、更に4年後の2017年には113人と3倍近くになったそうです。また、その後の維持策として研修会を開き、教育とその後の懇親会を通じて新会員の発言を促したりしたことで、退会者は殆どなかったそうです。

また、財政的にも余裕が出来て少額でも会費値下げが出来たそうです。

当クラブでも、会員全員で思い切って取り組みれば可能に近づくのではないのでしょうか。

8月のプログラム

1245回 12:30	ニューウェルサンピア沼津 IAC年次大会報告
08月24日(木)	加藤学園高校IAC 青少年奉仕
1246回 12:30	ニューウェルサンピア沼津 イニシエーションスピーチ：山田和典君
08月31日(木)	会員増強セミナー報告 名古屋良輔君

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告 (会員総数 28名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1244 回	27 名	23 名	-	85.19 %
1242 回	26 名	18 名	6名	92.31 %

●欠席者(4名)

井上武雄、名古屋良輔、内田逸美、渡邊勝也

●他クラブへの出席者

山田和典(7/31 沼津柿田川RC)

本村文一(8/3 吉原RC)

内田逸美(8/4 沼津RC 8/8 沼津 北RC)

成田みちよ(8/4 沼津RC) 鶴田龍聖(8/4 三島西RC)

●スマイル報告

- 成田みちよ：誕生日のお祝いありがとうございます。
- 重光 純：入会記念日のお祝いありがとうございます。
- 土屋昌之、4. 植松 正、5. 杉山真一、6. 田村治義、7. 芹澤貞治、8. 宮島賢次、9. 久松 但、10. 重光 純、11. 芹澤和子：出席表彰をありがとうございました。
- 成田みちよ、13. 下原満知子：皆様、出席表彰おめでとうございます。
- 頼川ゆう子：柿田川合同コンペ、優勝することが出来ました。
- 本村文一：所用につき、早退させていただきます
- A.Mテーブル：A.Mテーブル会残金です。
- C.Dテーブル：C.Dテーブル会残金です。

会 長	宮島賢次	幹 事	山本宜司
広報委員長	成田みちよ	編 集 者	神尾 栄一

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

- ①沼津RC
8月11日(金) 祝日休会 MU受付 11:30-12:30
沼津リバーサイドホテルにて
- ②富士宮西RC
8月11日(金) 祝日休会
- ③沼津北RC
8月15日(火) 裁量特別休会 MU受付 11:30-12:30

2. 報告・連絡事項

- ①本日は、理事会がありますので、理事の方は出席をお願いします。
- ②次週8月17日は裁量休会です。

理事会報告

1. 報告事項

- ①2017～2018年度の役員改正を、沼津朝日新聞、静岡新聞に掲載依頼し、7/25・7/8に掲載されました。
- ②国際ロータリー第2620地区より当クラブに2020～21年度ガバナー候補者推薦依頼がありましたが、見送ることにしました。
- ③2019年9月14日(土) 東レ研修センターにて行われる米山梅吉記念館創立50周年記念式典について、宮島米山記念館地区委員が記念式典委員会委員長、名古屋米山記念館評議員が記念講演委員会副委員長をそれぞれ拝命しました。

2. 協議事項

- ①9月・10月座席の件 SAA 植松 正君
職業別とする。⇒承認
- ②9月度のプログラムの件 クラブ管理委員長 鈴木和憲君 ⇒承認
- ③8月19日(土)静岡第3分区臨時会長・幹事会に出席に伴い会費を支給する。承認
- ④8月27日(日)に静岡商工会議所で行われる「社会奉仕セミナー」に参加する宮島会長・杉山委員長に交通費実費を支給する件 承認
- ⑤9月23日(土)のエンドポリオ合同募金活動について
公共イメージ向上委員長 成田みちよ君 10月22日(日)の当クラブの募金活動と併せて、会員に出席要請する

- ⑥会員の出席状況について
欠席が連続している会員に対して、事情を確認する。
- ⑦外部卓話者に対する謝礼・交通費について
公共イメージ向上委員会から謝礼・交通費を上限として支給する。

クラブ協議会 前年度事業・会計報告

前年度幹事 土屋 昌之

本日のクラブ協議会は、2016～2017年度事業報告及び決算報告を、各委員長より発表していただきました。

クラブ管理運営委員会から、実践卓話入門を2回開催した事、反省点として、会員卓話を計画できなかった旨の報告がありました。

公共イメージ向上委員会からは、計3回のクラブ活動の地元新聞への掲載、MYROTARYの登録者数の5割達成の報告がありました。

会員増強維持委員会からは、新会員推薦者4名に対して表彰を行ったこと、純増3名が達成できた報告がありました。

奉仕プロジェクト委員会からは、職業奉仕としての職場見学、社会奉仕としての寄付、青少年奉仕としての少年サッカー大会の表彰式への参加の報告がありました。

ロータリー財団委員会からは、沼津4クラブ合同コンペ開催時に、ロータリー財団100周年の冠名を付与し、参加者からのポリオプラスへの寄付の報告がありました。

SAAからは、おいでいただいたゲスト、ビジターに楽しくメンバーとの親睦を図れるよう心がけた話がありました。

最後に会計報告では、予算以上のスマイル収入があった旨の報告がありました。

会員皆様、1年間ご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

-----7月分出席一覧-----

颯川 (3, 1)	久松(2,2)+2	井上 (0, 2)	神尾 (3, 1)	宮口 (2)	宮島 (④) +4	本村 (2, 1)
永井 (3)	名古屋(④)+1	成田 (3, 1)	芹澤和(3,1)+1	芹澤貞(④)+1	重光 (2, 2)	下原 (3)
杉山 (④)	鈴木博(3, 1)	鈴木和(④)	鈴木良(2,免除)	田村 (3, 1)	土屋 (3)	鶴田 (3, 1)
内田 (2, 2)	植松 (④)	上野 (1, 1)	渡邊勝(2)	渡邊亀(2,免除)	山田 (3, 1)	山本 (④) +1
			例会出席%	72 . 22 %	地区報告%	88 . 89 %

氏名(ホームクラブ出席数、他クラブ出席数)+超過出席数。丸数字はホームクラブ出席100%を示す。



Rotary: Making a Difference

2017～2018 年度
第 27 巻 7 号
2017 年 8 月 24 日

● クラブテーマ ●
クラブを変化させよう

■■ 本日のプログラム ■■
■ IAC年次大会 青少年奉仕委員会 ■

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050 (久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600 (久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第 1245 例会 会長挨拶◆◆

8月というと、15日が日本にとっては終戦記念日、戦勝国は戦勝記念日となります。何れの記念日も多くの犠牲者を出した戦争が終わって、もう二度と繰り返さないようにと思うところでは同じではないでしょうか。

16日の朝日新聞に「私の平和と戦争」と題して一般者からの寄稿文がありましたので紹介します。

「地獄を見た祖父の言葉を背負う」42歳の方ですが、既に亡くなられた祖父が80代になって初めて陸軍時代の体験を語り始めました。

「あれは、地獄だった」広島に原爆が投下された数日後、救援命令で現地に向かい「黒焦げで人間の姿をしていない犠牲者をひたすら火葬した」それを聞いた寄稿者が、当時の人の心理が知りたくて戦争の体験記を読むようになった時に、奥さんが近年の中国や韓国の報道に「いつまで日本は謝るの」と言いました。そこで寄稿者は、過去の戦争を詳しく知る必要に駆られ、日清戦争から日中戦争に至った経緯を調べました。

今まで被害者としての事実ばかり見てきたが、加害側の事実も知っておくべきだった。最後に祖父が言った「戦争はもう嫌だ」という言葉の重みがやっとわかった気がしたそうです。

戦争は、国際ルールが有ったとしてもいざ始まれば無法地帯になります。それは弱い人間同士だからでしょうか。自分の命を優先に考えれば止むを得なくなります。ですから、絶対に戦争を起こしてはなりません。

今年は、NHKが満州で化学兵器の研究をしていた第731部隊の事実を放送しましたが、中国や韓国から放送を歓迎するコメントがありました。お互いに悲惨な戦争を忘れず二度と起こさない決意を新たにす8月で有り続けて頂きたいと思います。

8月のプログラム

1246回 12:30	ニューウェルサンピア沼津 インセッションスピーチ
08月31日(木)	山田和典君 会員増強セミナー報告

9月のプログラム

1247回 12:30	ニューウェルサンピア沼津 外部卓話
09月07日(木)	ロータリーの友 所長 渡辺誠二様
1248回 12:30	ニューウェルサンピア沼津 クラブフォーラム①
09月14日(木)	公共イメージ向上委員会 理事会④
09月21日(木)	祝日週休会
1249回 12:30	ニューウェルサンピア沼津 社会奉仕セミナー報告
09月28日(木)	奉仕プロジェクト委員会

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告 (会員総数 28名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1245 回	28 名	26 名	-	92.86%
1243 回	27 名	21 名	2 名	85.18%

●ゲスト

1. 松本英教様：加藤学園IAC顧問
2. 蓑方美紗樹様：加藤学園IAC会長
3. 前田 透様：加藤学園IAC副会長

●欠席者(2名)

宮口雅仁、永井克彦

●他クラブへの出席者

- 内田逸美(8/3 東京四谷RC)
宮島賢次、芹澤和子(8/19 米山梅吉記念館)
宮島賢次、山本宜司(8/19 会長幹事会)
名古屋良輔(8/21 富士宮RC)

会 長	宮島賢次	幹 事	山本宜司
広報委員長	成田みちよ	編 集 者	神尾栄一

●スマイル報告

1. 名古屋輔、2. 内田逸美：誕生日のお祝いありがとうございます。
7. 宮島賢次、8. 山本宜司、9. 鈴木和憲、10. 鈴木良則、11. 久松 但：加藤学園IACの皆さん、松本先生、本日は報告を宜しく願います。
12. 渡邊亀一：先々週、思いがけない出席表彰をありがとうございました。
13. 本村文一、14. 穎川ゆう子：所用につき、早退させていただきます。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①沼津柿田川RC

8月28日(月)→25日(金)沼津RC合同例会(MU受付有)

2. 報告・連絡事項

- ①九州北部豪雨災害義援金にご協力ありがとうございました。送金しました。
- ②END POLIOの募金にご協力ありがとうございました。

第44回インターアクト年次大会報告

■加藤学園高等学校インターアクトクラブ■ 養方美紗樹 会長、前田 透 副会長

私達は7月30日・31日に山梨県北杜市で行われたインターアクト年次大会に会長・副会長・幹事の4名で参加させていただきました。

初日はまず、JICA横浜の中野貴之さんの『国際協力とは』という講演(ワークショップ)を聞きました。声を出さずに誕生日の順に並ぶということから始まり、他校の生徒とグループを作りました。かなり緊張感がありましたが、中野さんの各地での体験やいろいろな話を聞いたり、グループで意見を出し合っていました。

国際協力を進めていくためには、お互いの文化を理解しようと試みることや先入観を捨てて何が大切かを考えていくことなどが重要であるとわかりました。その夜は山梨県立八ヶ岳少年自然の家に宿泊しました。そこでは青年海外協力隊に参加した方の帰国報告がありました。ヨルダンとエチオピアに派遣された2名の方の話を聞いて、海外への興味が増したのと同時に日本に住んでいる私達がいかに恵まれた環境にいるのかを痛感しました。

夜の部屋割りも同じ学校の生徒がいないという状

況で最初は戸惑いでしたが、少しずつ話せるようになって落ち着いて過ごせました。

2日目は清里の駅周辺を散策しました。部屋割りの班での行動でしたが、すっかり打ち解けて、話し合っただけで決めた場所を楽しくまわることができました。避暑地とはいえ、かなり暑い中でしたが、日陰に入ったり、時おり吹く風がとても涼しく、さわやかな気持ちになりました。ホスト校である山梨英和高校は最初の聖歌隊の皆さんの透き通った歌声に始まり、部員の方々の動きも素晴らしく、そのお陰で充実した研修になりました。

インターアクト年次大会に参加させていただいて、様々な貴重な体験をしたり、たくさんの人達と交流を持つことができました。本当にありがとうございました。

- 9月7日(木) 17:00～インターアクト例会
加藤学園 記念館 2F

出席表彰

2016～17年度 出席表彰者



- ホームクラブ100% 土屋 昌之 君、杉山 真一君、植松 正 君
- 最多出席者 名古屋輔 君 (61回)
- 100% 累積 5年 田村 治義 君、芹澤 和子 君
10年 名古屋輔 君
15年 芹澤 貞治 君
- 100%出席(13名)
久松 但 君、宮島 賢次 君、名古屋輔 君、芹澤 和子君、芹澤 貞治 君、重光 純 君、杉山 真一 君、鈴木 博行 君、田村 治義 君、土屋 昌之 君、鶴田 龍聖 君、植松 正 君、渡邊 亀一 君

皆様、出席表彰おめでとう御座います。



Rotary: Making a Difference

2017～2018 年度
第 27 巻 8 号
2017 年 8 月 31 日

● クラブテーマ ●
クラブを変化させよう

■■ 本日のプログラム ■■
■ イニシエーションスピーチ：山田和典君
■ 会員増強セミナー報告：会員増強・維持委員会 ■

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050 (久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600 (久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第 1246 例会 会長挨拶◆◆

今日は、皆さんが何時も快くお金を下さるスマイルについて話します。

ニコニコ箱とも言いますが、これは世界的でなく日本のロータリーが発祥地になります。

日本で慣例になったのは昭和10年のことです。関東大震災の被災孤児達を東京ロータリーホームという孤児院で世話をしていましたが、東京ロータリークラブの人達が、当時オープンした多摩川園という遊園地に孤児達を連れて行ってやろうということになりました。

ところが、さてその金はどうかということになった時、会員達はお金持ちでも、クラブ自体にはお金がありません。

そこで、日本橋の商店の筆頭番頭であった関幸重という人が一計を案じ、有り合わせの段ボール箱を持って、「あなたの誕生日ですよ」とか「お嬢さんが結婚されたでしょう」とか色々な事を軽妙洒脱に面白く話しながら、例会場を回り会員達が笑いながら財布の紐を解いたそうです。

当時、大学卒の初任給が60円くらいの時代に600円の金が集まったと言いますから、流石は東京ロータリークラブです。これで孤児達を多摩川園に連れて行く事が出来ました。

それからは、関さんが、何かあるごとに箱を持って回ったのですが、あまりに汚い箱では具合悪かろうと、皆がニコニコして金を出してくれるからと、三越に注文して、恵比寿様の顔を彫った箱を誂えました。これがニコニコ箱の起こりだそうです。

因みに大阪ロータリークラブは、昭和5年からだそうですが、SAAが遅刻等の時に強制的に取り立て

た罰金箱であったということです。

やはり、取り立てられることなく何時もニコニコしてスマイルボックスに入れる様な事が多い方が良いでしょうね。罰金箱は「すまんボックス」として別のボックスにしているクラブもあるそうです。

9月のプログラム

1247回 12:30	ニューウェルサンピア沼津 外部卓話
09月07日(木)	ロータリーの友 所長 渡辺誠二様
1248回 12:30	ニューウェルサンピア沼津 クラブフォーラム①
09月14日(木)	公共イメージ向上委員会 理事会④
09月21日(木)	祝日週休会
1249回 12:30	ニューウェルサンピア沼津 社会奉仕セミナー報告
09月28日(木)	奉仕プロジェクト委員会

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告 (会員総数 28名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1246 回	28 名	25 名	-	89.28%
1244 回	27 名	23 名	3 名	96.30%

●ビジター

1. 小林 俊様：沼津北RC

●欠席者 (3名)

久松 但、井上武雄、成田みちよ

●他クラブへの出席者

宮島賢次、杉山真一(8/27 社会奉仕セミナー)

会 長	宮島賢次	幹 事	山本宜司
広報委員長	成田みちよ	編 集 者	神尾栄一

●スマイル報告

1. 鶴田龍聖、2. 鈴木和憲：会員増強委員会、宜しくお願いします。
3. 山本宜司、4. 本村文一、5. 杉山真一、6. 田村治義、7. 土屋昌之、8. 鈴木良則9. 渡邊勝也：山田君、本日は、イニシエーションスピーチ、宜しくお願いします。
10. 山田和典：本日は、イニシエーションスピーチ、がんばります。
11. 名古屋輔：ベトナム支援隊に富士宮RCより、5万円カンパしていただきました。
12. 名古屋輔：8月も100キロ走り、30ヶ月連続目標、達成しました。
13. 名古屋輔：出席表彰、ありがとうございました。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

- ①富士宮西RC9月01日(金) 特別休会<MU受付あり>

2. 報告・連絡事項

- ①END POLIOの募金にご協力ありがとうございました。

イニシエーションスピーチ



山田 和典君

1973年3月7日、母の実家のある名古屋市で誕生し、その後、沼津市に戻り高校まで沼津市で育ちました。

高校卒業後、大学を栃木県で過ごし、弊社山田車体の取引先に社会勉強で2年、97年6月に山田車体入社後、仙台工場に研修かねて1年半、98年11月に本社沼津工場に戻り、その後、父健雄の他界により、2003年4月、30歳で三代目社長に就任しました。長らく肝臓を患っていた父とは一度も会社とともに仕事をしたことがありませんでしたが心の準備だけはできておりました。

駆け出しの若者が経営者としてやってこれたのも、父の代の幹部社員が支えてくれたからであります。

ここで、祖父恒策についてです、弊社の創業者である祖父の存在なくして今日はありません。1913年から

2009年までの96年間の人生において、幼少期の一家離散、兵役、戦地での負傷、会社創業と波乱万丈の人生を送り、座右の銘は「石橋を金(かね)の杖をついて渡る」といった堅実主義でした。先人達への感謝と受け継いだ三つの教えを守り精進してまいります。

会員増強維持委員会 名古屋輔委員長

7月22日、会員増強・維持セミナーが静岡県男女共同参画センターあざれあで、12時45分村松ガバナリーの点鐘で開催され宮島会長とともに出席いたしました。13時からは講演「ダイナミックなクラブを目指して」と題して、さらに元気で明るいクラブになるためには、どうしたら良いかを、第2760地区地区研修リーダー研修委員長西尾ロータリークラブ田中正規氏が講演されました。

2016年の規定審議会において、各クラブの自主性が大幅に認められました。選択肢も増えましたが責任も重くなりました。日本のクラブが直面している問題として、

- ・会員の減少が止まらない。
- ・クラブの活力が失われている。
- ・会員間に意識のギャップがある。
- ・親睦の機会が少ない・ロータリーのことを知らない(関心がない)会員が増えている。
- ・奉仕活動がマンネリ化している。
- ・若い会員のニーズに答えられていない。

そして元気なクラブ作りの重要課題として、ともに奉仕の理念を信じ、ロータリーの諸活動に積極的に参加する「仲間」を増やすことが大切。それは会員増強だとされています。

クラブの活性化とは何か、については、活性化を促進するものとして、以下を挙げています。

- ・ロータリー精神の再認識(ロータリーの原点への回帰)
- ・委員会活動の活性化
- ・親睦活動の充実
- ・奉仕活動への積極的な参加の機会づくり
- ・既存会員の意欲向上
- ・新入会員の教育

最後にロータリーの未来について、ポール・ハリスの言葉を引用しています。

「ロータリーがしかるべき運命を切り開くには、常に進化し、時には革命的にならなければなりません」